

子宮頸がん予防接種

先月から定期接種化された子宮頸がんの予防ワクチンについて「効果が薄いのでは」との声が上がっている。子宮頸がんは「唯一、予防できるがん」といわれ急速にワクチンの導入が進んだ一方、重篤な副作用とみられる報告も相次いでいる。メリット（予防効果）とデメリット（副作用）のバランスを検証し直す必要はないのか。（上田千秋）

このワクチンで効果料を基に計算すれば、容
 の可能性があるのは、全易に導き出せる。
 女性の0・007%、子宮頸がんを引き起こ
 万人に七人ではない。す高リスク型ヒトパピロ
 三月の参院厚生労働委「マウールス（HPV）
 員会（厚労委）でワクチンは約十五種類あり、その
 ンについて質問した。は「うちワクチンの効果が確
 たどもて参院議員（生活 認されているのは16型と
 の覚）は、こんな数字を 18型の二種類。この二つ
 口にした。 で高リスク型HPVの五
 七割を占めるとされる
 国の資料
 基に算出
 意外とも思える低さだ
 が、国が公表している資
 料が、

メリット10万人に7人

ワクチン接種後、体に異常を来し、歩くこともままならなくなった女子中学生＝全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会作成のDVDから



0・7%のうち九割は
 自然にウイルスが排出さ
 れ、残る一割の中の90%
 も自然治療するため、ワ
 クチンの効果が期待され
 る子宮頸がんの初期段階
 に至るのは、0・007%
 にすぎないという計算
 になる。
 一こうしたデータは、国
 立感染症研究所が二〇一
 〇年七月にまとめた「日
 本労働省の矢島鉄也健康
 局長も、肯定する発言を
 アクトシート」に盛り込
 まれている。とはいえ、
 子宮頸がん
 はた氏の質問に答えた厚
 にかかる女性がいけないわ
 けではない。年間一万人

子宮頸がん予防ワ
 クチン 英グラクソ
 ・スミスクライン社
 の「サーバリックス」
 （2009年10月承認）と、米
 メルク社製の「ガーダシ
 ル」（11年7月承認）の2
 種類が使用されている。市
 区町村と国は10年4月から
 順次、中学生らを対象に接
 種費用の助成を開始。予防
 接種法に基づいて今年4月
 からインフルエンザ菌
 型（ヒブ）ワクチン、小児
 用肺炎球菌ワクチンととも
 に、国が接種を勧奨し、全
 額公費負担となる定期接種
 の扱いになった。

ワクチン 効果薄い

早期発見で治癒 検診率上げる努力を

近くが罹患し、少なくとも
 も同約二千七百人が死亡
 するといわれる。そこ
 で、はた氏が「予防接種
 よりも力を入れるべき
 だ」と唱えるのが、検診
 の受診率アップだ。子宮
 頸がんは早期に発見され
 ば死亡に至ることはほ
 なく、矢島局長も厚労委
 で「適切な治療が行われ
 た場合の治療率はおおよ
 ね100%と、学会の方
 イドラインで示されてい
 る」と話している。
 問題は受診率の低さ。
 欧米各国が60〜80%程度
 なのに対し、日本では20
 %台にとどまっている。
 各自治体とも啓発に力を
 入れているものの、当
 事者の認識が薄かった
 り、男性医師に診察され
 るかもしれないという抵
 抗感から、数字は低いま
 まになっている。
 はた氏は「定期的に検
 診を受けていれば、ワク
 チンの必要性がないこと
 は国の資料からも明ら
 か。英国のように女性看
 護師らが診るやり方を進
 めればよい。ワクチンに
 かかる費用を考えれば、
 何ら難しいことではな
 い」と主張する。